

西国立駅周辺地域 まちづくり構想(素案)

説明会

日時：令和3年10月29日(金)・31日(日)
11月 4日(木)
場所：たましんRISURUホール 小ホール
立川市



1. 開会
2. 挨拶
3. 市からの説明
 - (1) 第1回意見交換会の振り返り
 - (2) 第2回意見交換会の報告
 - (3) まちづくり構想(素案)について
4. 質疑応答
5. 今後の予定
6. 閉会

III 次第



1 開会

3



2 挨拶

4

III 3 市からの説明

- (1) 第1回意見交換会の振り返り
- (2) 第2回意見交換会の報告
- (3) まちづくり構想（素案）について

5

III (1) 第1回意見交換会の振り返り

- ・令和2年7月24日（祝・金）から7月28日（火）にかけた3日間、第1回意見交換会を開催し、合計74名の方が参加されました。

日時	場所	参加者
令和2年7月24日（祝・金） 14:00～15:00	たましんRISURUホール	32名
令和2年7月27日（月） 19:00～20:00	5F 第一会議室	31名
令和2年7月28日（火） 19:00～20:00	立川市子ども未来センター 2F 201・202会議室	11名
合 計		74名

6

III (1) 第1回意見交換会の振り返り

- ・第1回意見交換会では、市から以下のことについて説明し、参加者の皆様からは、連続立体交差事業等への質問や駅周辺のまちづくりの課題、まちづくりへの期待などについて貴重なご意見をいただきました。

- 1) 意見交換会の目的
- 2) 連続立体交差事業について
- 3) まちづくり構想のイメージ
- 4) 既存の計画について
- 5) 地区の現況について

7

III (2) 第2回意見交換会の報告

- ・令和2年10月2日（金）、10月4日（日）の2日間、第2回意見交換会を開催し、合計51名の方が参加されました。

日時	場所	参加者
令和2年10月2日（金） 19:00～20:00	たましんRISURUホール	27名
令和2年10月4日（日） 10:00～11:00	5F 第一会議室	24名
合 計		51名

8

III (2) 第2回意見交換会の報告

- ・第2回意見交換会では、市から以下のことについて説明し、参加者の皆様からは、まちの将来像、分野別の課題や方針、駅前広場等について貴重なご意見をいただきました。

- 1) 第1回意見交換会の報告
- 2) まちづくり構想のイメージ
- 3) まちの将来像のイメージ
- 4) 分野別の方針（案）
- 5) 駅前広場について

9

III (2) 第2回意見交換会の報告

○まちづくり構想全般について

主なご意見・ご質問
●概ね賛成（構想全体、将来像 等）。
●少子高齢化を考慮したまちづくりをしてほしい（多世代にやさしいまち、駅を中心としたコンパクトなまち、生活に余裕を感じる場所づくり等）。
●賑わいよりも安心して生活できる環境を重視してほしい（生活に根ざした憩いの場づくり、住宅地として魅力のあるまち、子育てしやすいまち、公園やアーケード商店街等があるまち 等）。
●まちづくりのターゲットを考えるべき。
●立川の特性（立川まんがぱーく、アニメの舞台）を生かしたアニメ文化を発信し、広く人を集めのまちづくりをしてはどうか。
●駅周辺は現状のままでよい。

市の意見
➤ 本構想全般について、多様なご意見を頂きましたが、お示ししたまちづくり構想の将来像（案）や「土地利用」、「道路・交通」、「緑・景観」の3つの分野ごとの取組みの方針（案）については、概ね賛成といったご意見が多かったと認識しています。

10

III (2) 第2回意見交換会の報告

○まちづくり構想全般について

主なご意見・ご質問

- 構想の対象となるエリアはどこなのか。
- 新型コロナウイルスの影響で経済が縮小する中で、公共事業が進められるのか。
- どのくらいの事業期間を想定しているのか。
- 南武線の連続立体交差化の計画が明確になってから、まちづくりを検討するべきではないか。
- 駅前の賑わいづくりは、商店街の衰退につながるのではないか。
- 構想の内容に具体性がない。

市の意見

- 本構想の対象範囲は「西国駅周辺地域」とし、範囲を明確に限定しないこととしました。
- 本構想は、アフターコロナも含め20～30年先のまちの将来像を考えるものです。
- 連続立体交差化計画が具体化する前の段階で地域の皆様と「まちの将来像」を共有し、具体的な都市計画の検討につなげていきたいと考えています。
- この地域に求められる「にぎわい」は、地域の人々が交流し集い憩えるようなイメージです。
- 構想策定後には、地域の皆様と連携して構想の具現化に向けた調査・検討を進めます。

11

III (2) 第2回意見交換会の報告

○土地利用について

主なご意見・ご質問

- 生活利便施設の整備には賛成である。
- 公共施設を整備してほしい（図書館・学習館、高齢者が集まる施設、駅前への公共施設整備、コロナ対策をした施設を利便性の良い位置に整備 等）。
- 病院があるので、入院されている人が利用できるような温浴施設やレストラン等、健康に配慮した高齢者にも優しい施設をつくってほしい。
- 商業施設について
➤ 駅直結の大規模なショッピングセンターが良い。
➤ 駅前広場にチャレンジショップを作つて活性化。
- 国有地の活用
➤ JRを開発してもらい、駅西口を開設してほしい。
➤ 民間をうまく活用してほしい。
- 公園、広場などの整備
➤ 避難場所を十分考慮した公園・緑地地区がよい。
➤ イベントができる広場があるとよい。
- 面的な土地利用
➤ みのわ通りとやすらぎ通りをつなぎ面的整備で大きく考えた方がよいのでは。
➤ 構想で示されたエリアは限定的すぎる。

➤ 市の意見

- 本市の公共施設の多くは老朽化が進んでおり、施設を維持更新していくことが非常に困難なため、今後35年間で床面積を2割減らす方針で再編に取り組んでいます。
- 国有地の活用については、民間を含めまちの将来像に望ましい土地利用の誘導を検討し、暫定的な利用等も含め国と協議していきたいと考えています。
- さらに、連続立体交差化により生まれだされる新たな空間を活かしたまちづくりを検討していきたいと考えています。

12

III (2) 第2回意見交換会の報告

○道路・交通について

主なご意見・ご質問

- 事故などで踏切が開かないと渋滞で自宅から車も出せず、タクシーも呼べず困ります。立体交差いいですね。
- 歩道の整備
 - 通勤・通学で歩行者が多いので歩道拡幅してほしい。
 - やすらぎ通りの歩道拡幅を国有地までつなげてほしい。国有地の土地利用の検討とは別に先に進めてほしい。
 - 羽衣いちょう通りは歩道が非常に狭く不便。
 - 東京女子体育大学からみのわ通りに向かう道路は通学で使用するが、車が多く歩道が無いため危険なので見直すべき。
- 歩行者ネットワーク
 - 歩行者ネットワークとはどのようなものか。
 - 歩行者ネットワークは歩くだけでなく、楽しんで歩ける工夫が必要。

市の意見

- 歩道が無い道路や狭い道路等については、歩行者等の安全性・快適性確保の観点から道路環境の改善を検討していきたいと考えています。
- 歩行者ネットワークとは、各公共施設や医療機関といった各施設と西国立駅及び周辺地域を結びつける道路において、誰もが安全・快適に通行できるような歩行空間が連続的に整備されていることを想定しています。

13

III (2) 第2回意見交換会の報告

○駅前広場について

主なご意見・ご質問

- 配置について
 - 構想で示された位置では、駅から距離がある。
 - 構想で示された位置では、国有地に利便施設を整備できない。
 - 駅前広場は、立川病院のロータリーと重複するのでは。
 - 鉄道が高架化または地下化にするか未定の状態で西側に駅前広場を整備すると決めるのは問題がある。
- 早く駅前広場を整備してほしい。
- 駅前広場の計画内容について
 - 道路に送迎者が止まっていることが多いので、国有地にロータリーを優先的に整備してほしい。
 - 高齢化社会に向け西武立川駅のようなしっかりした駅前広場を作り、くるりんバスの走行回数をもっと増やしてほしい。
 - 西国立駅前は歩行者や自転車が多いので、車中心の広場じゃない方がいい（離れたところにバス、タクシー乗り場を設置）
 - 病院と連続するような緑地を設けてほしい（車が侵入すると緑・景観を損なうのでは）。
- 病院までつながるアーケードを設置。

市の意見

- 駅前広場の位置は、国有地の活用を考慮し、駅西側で検討を進めます。
- 国有地のすべてを駅前広場にすることは考えておらず、残った部分はまちの将来像に望ましい土地利用の誘導を検討します。
- 高齢者や移動制約者にも配慮した駅前広場を適切な規模、機能（バスやタクシーの乗降場）で整備していくことを考えています。
- 駅前広場は歩行者に配慮した空間として整備することを考えており、必要な機能については、皆様のご意見も参考に検討していきます。

14

III (2) 第2回意見交換会の報告

○その他

主なご意見・ご質問

- 駅西口の整備について
 - 西口が必要（鉄道立体化ではなく駅立体化で西口を整備、鉄道立体化までの暫定的に西口整備、通勤時の臨時改札でもよい 等）
 - 西口が整備できないのであれば、しっかりと説明したほうがよい。
- JR南武線の立体化について
 - なぜJR南武線立体化の説明ができないのか。鉄道立体化を想定したまちづくりなのに、説明されないのは違和感がある。
 - 踏切の渋滞状況を市は把握しているのか。
- 羽衣町に計画されている都市計画道路とまちづくり構想は関連しているのか。
- 国立駅行きのバスの本数、経由地を変えないでほしい。
- RISURUホール東側公園と病院の縁と連続性を持たすようフラットにしてほしい。
- 南口から多摩川へ人が観光や散歩したくなる町作り。根川の桜街道を楽しめる。
- 新しく住んだ人は、良くも悪くも環境を選んで住んでいる。

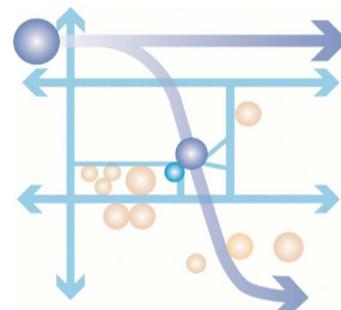
市の意見

- 臨時改札口の整備には多額の費用が発生することから、実現は難しいと考えます。市では連続立体交差化計画の早期実現に向けた関係機関への働きかけを行っていきたいと考えています。
- 今回の意見交換会は、鉄道立体化を契機とした市や地域住民が行うまちづくりについての意見共有を図る目的で開催いたしました。
- 本構想は、都市計画道路も含め南武線との交差道路の整備により、交通の流れが変わることを見据え、検討しています。

15

III (3) まちづくり構想 (素案)について

西国立駅周辺地域 まちづくり構想 (素案)



令和3(2021)年
立川市

16



1. 構想策定の背景及び目的

1 背景

- ・本地域は、JR南武線の踏切による交通渋滞の発生や歩行者等の安全確保、駅前における公共交通機関への乗り換えなど、様々な課題を抱えています。
- ・現在、東京都においてJR南武線の鉄道立体化の検討が進められており、鉄道立体化を見据えたまちづくりに取組んでいく必要があります。

2 目的

- ・本構想は、JR南武線の鉄道立体化を見据えたまちづくりに取り組む際に、地域と行政、関係機関等が『まちの将来像』を共有し、協力しながらまちづくりを進めるための指針となることを目的とします。

17



1. 構想策定の背景及び目的

3 構想の対象

本構想の対象は、西国立駅周辺や鉄道立体化により生まれる空間を中心に、駅周辺のまちづくりの影響が及ぶエリアを想定しています。



18

2. 西国立駅周辺地域の将来像

○まちの将来像

安全·安心

憩い・交流

利便性向上

誰もが暮らしやすい緑うるおう交流拠点
～周辺地域と連携するにぎわいと住みよさが調和するまち～

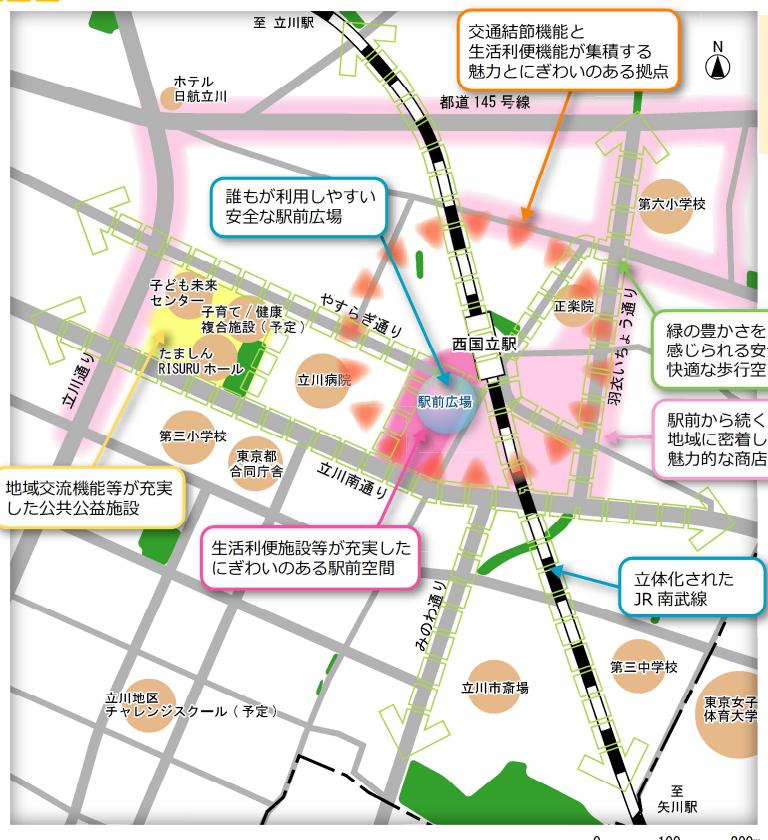
良好な 住環境

豊かな緑

住環境に配慮した利便性の高い安全な駅前ゾーンを中心として、緑豊かな生活、文化・交流、医療福祉等の拠点を形成し、立川駅周辺地域等とも連携するにぎわいと住みよさが調和するまちを目指します。

19

2. 西国立駅周辺地域の将来像



将来のまちの姿 ～まちづくりのイメージ図～

凡例

■ 主要な道路

公園・緑地等

駅前広場

緑と歩行者の
関係

IP 東武線

二二二



3. 分野別のまちづくり方針

まちの将来像を実現するため、3つの分野ごとに取組みの方針を定めます。

土地利用

にぎわいと住みよさが
調和するまちの形成

道路・交通

安全・安心な
道路交通環境の形成

緑・景観

緑うるおう
魅力的な街並みの形成

21



3. 分野別のまちづくり方針

土地利用

土地利用に関する課題

- 駅周辺の未利用地の活用
- 日常生活を支える魅力ある商店街づくり
- 良好な住環境の維持



土地利用の方針：にぎわいと住みよさが調和するまちの形成

●生活中心地としての機能集積

- 駅前の未利用地や鉄道立体化による創出空間に生活利便施設を誘導、誰もが便利で安心して利用できる駅前ゾーンの形成
- 人々の活動や交流の中心地として、既存の公共公益施設の再編整備

●身近な商業地の活性化

- 駅前からつながる商店街等の活性化、連続した魅力あるにぎわいづくり

●良好な住環境の保全と安全安心なまちづくり

- 住宅と商業施設が調和した街並み形成、にぎわいと住みよさの両立
- 道路整備における歩行者の安全性確保や住環境の保全
- 緊急輸送道路、避難路及び沿道の防災性向上

22

III 3. 分野別のまちづくり方針



土地利用のイメージ図

駅前ゾーン	駅前広場と生活利便施設等が立地し、地域の拠点としてふさわしい街並み景観を形成
商業・暮らしゾーン	身近な商店や飲食店と住宅が調和した街並みを形成し、にぎわいと住みよさが両立
公共公益ゾーン	文化・芸術、地域交流、健康・子育て機能等を有する公共公益施設が立地
医療施設ゾーン	地域の医療を支え、災害拠点病院としても機能する立川病院が立地
緊急輸送道路	地震直後から発生する緊急輸送を円滑に行う幹線道路等
一次避難所	災害時、最初に開設する避難所。食料、飲料水、生活用品、救助資器材を備蓄
二次避難所	災害時、必要に応じて順次開設する避難所。障害者・高齢者等の優先的な受入に対応

23

III 3. 分野別のまちづくり方針

道路・交通

道路・交通に関する課題

- 踏切による交通渋滞等の発生
- 公共交通機関等への乗り換え
- 駅周辺の安全な歩行空間等の整備



道路・交通の方針：安全・安心な道路交通環境の形成

●連続立体交差化の促進

- 踏切除却による交通渋滞の解消、鉄道による地域分断の解消
- 鉄道と交差する道路等の整備による歩行者等の安全確保

●駅の交通結節機能の強化

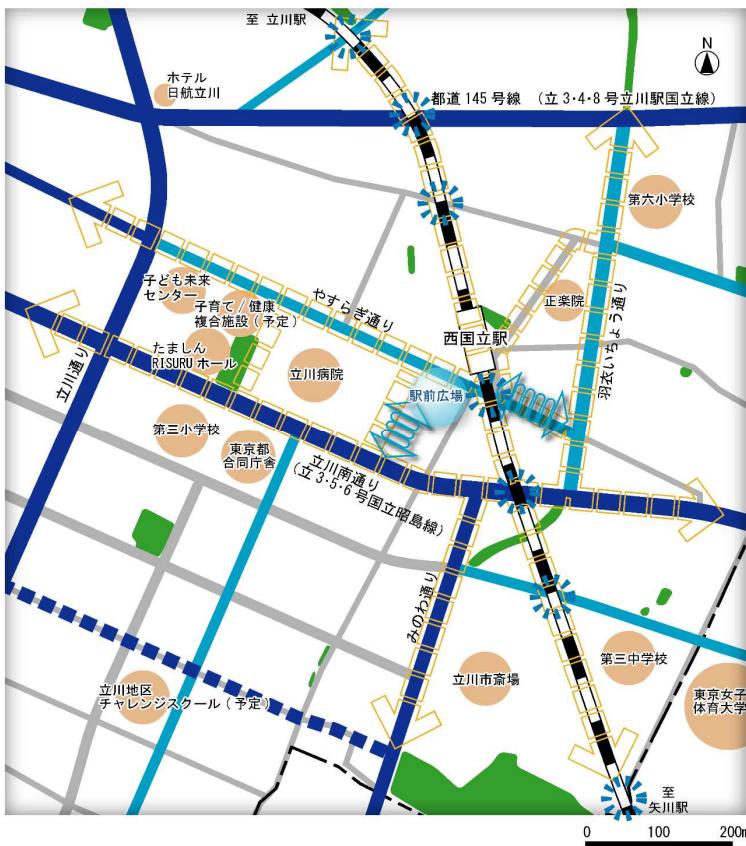
- 誰もが利用しやすい駅前広場及び駅にアクセスする道路の整備
- 地域交通の利便性向上

●安全・快適な道路環境整備

- 駅周辺及び地区幹線道路・街区幹線道路等における、ユニバーサルデザインの視点に立った道路環境の形成
- 地域内各施設と駅等を結ぶ、安全・快適な歩行者ネットワークの形成

24

3. 分野別のまちづくり方針



道路・交通のイメージ図

地区幹線道路	地区の骨格となる道路
〃 (未整備)	
街区幹線道路	地区幹線道路等で囲まれた 街区の骨格となる道路
区画道路	沿道の土地、建物へのアセ スを主たる機能とする道路
駅前広場	鉄道とその他交通機関を 結節する交通広場
駅アクセス 道路	地区幹線道路及び街区幹線道 路から駅への円滑なアクセス と歩行者・自転車の安全性確 保を両立する道路
歩行者ネット ワーク	西国立駅と地域内の各施設 及び周辺地域を結ぶ 連続した歩行空間
踏切除却	鉄道立体化に伴う 踏切の除却箇所

25

3. 分野別のまちづくり方針

緑・景観

緑・景観に関する課題

- 緑を活かした魅力的なまちづくり
- 駅周辺の街並み景観の向上



緑・景観の方針：緑うるおう魅力的な街並みの形成

●緑の景観づくり

- 公園や公共施設等のまとまった緑を結ぶ緑のネットワーク（街路樹・植樹帯、民有地内の緑）形成による連続した緑の景観づくり
- 道路や鉄道立体化による創出空間の緑化、公共施設再編に合わせた緑化

●住民・事業者・市の協働による緑の創出

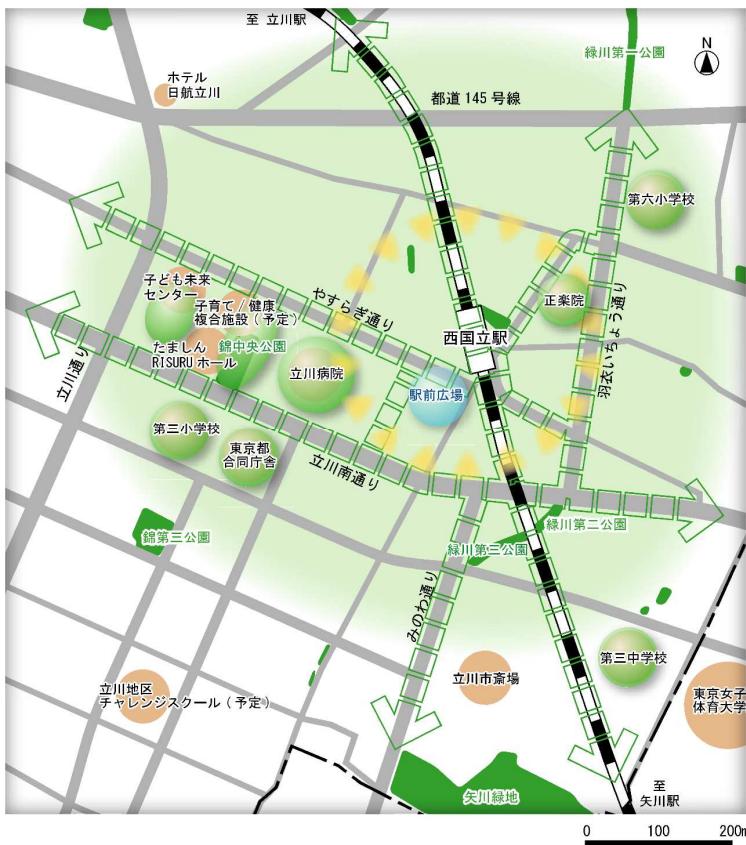
- 住宅地における接道部の緑化促進、民間事業者との連携による緑化誘導等による、緑の豊かさを感じられる街並みづくり
- 住民・事業者と協力し、民有地内の多様な緑化推進による緑の総量維持
- 公園の管理や緑化活動等、行政と市民の協働による緑の保全・創出

●駅周辺の良好な街並み景観の形成

- 駅周辺の地域拠点にふさわしい景観に配慮した街並み誘導
- 無電柱化による道路景観の向上

26

III. 分野別のまちづくり方針



緑・景観のイメージ図

まとまった緑	環境改善にも寄与する緑のまとまり
緑・景観のネットワーク	街並みにうるおいをもたらす連続した緑・景観
公園・緑地	人々が憩い、交流する、身近な緑に親しめる場
民有地の緑の保全・育成	住民・事業者の協力により形成される緑
駅周辺の街並み形成	地域の拠点としてふさわしい街並みを形成するエリア

27

IV. 今後のまちづくりの進め方

まちづくりの体制

方針：地域(住民・事業者)と行政(市)の協働のまちづくり

本地域では、住民や事業者等と行政（市）が意見を出し合い、共に協力しながら進める『協働のまちづくり』を基本として、まちづくりの実現を目指します。



28

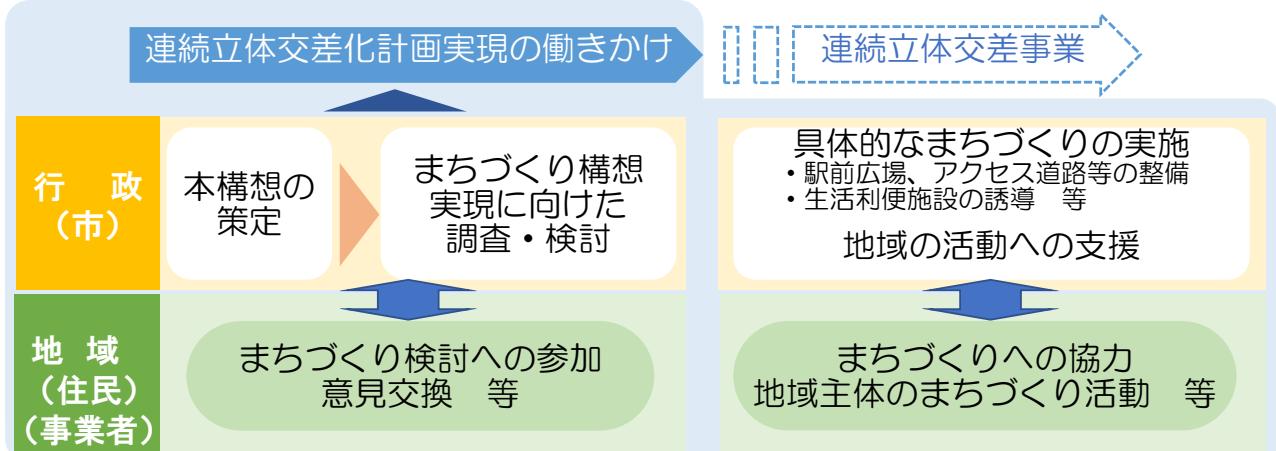


4. 今後のまちづくりの進め方

今後のまちづくりの進め方

- JR南武線の連続立体交差化の早期実現に向け、関係機関に働きかけていきます。
- 同時に、地域との協働を図りながら、本構想に基づいたまちづくりの具体的な取組みを検討し、順次、実現を図ります。

■まちづくりの進め方のイメージ



29



4 質疑応答

30

III 5 今後の予定

31

III 5 今後の予定

時期	内容
令和3年10月29日 10月31日 11月 4日	西国立駅周辺地域まちづくり構想 (素案)説明会
令和3年10月25日 ～ 11月19日	西国立駅周辺地域まちづくり構想 (素案)パブリックコメントの実施
令和4年 3月頃	西国立駅周辺地域まちづくり構想 策定

※構想（素案）に対するご意見は、直接、窓口（まちづくり推進課）へご持参いただくな、住所・氏名を書いて、郵送、FAX、Eメール、市ホームページのパブリックコメント専用フォームにより受付けています。

32



6 閉会